



FY2024-1Q
(2023年10月-2023年12月)

決算説明資料

2024年2月14日

SPRIX 株式会社 **スプリックス**

(東証スタンダード 7030)

1. 会社概要
2. FY2024-1Q業績
3. 参考資料

1

会社概要

MISSION

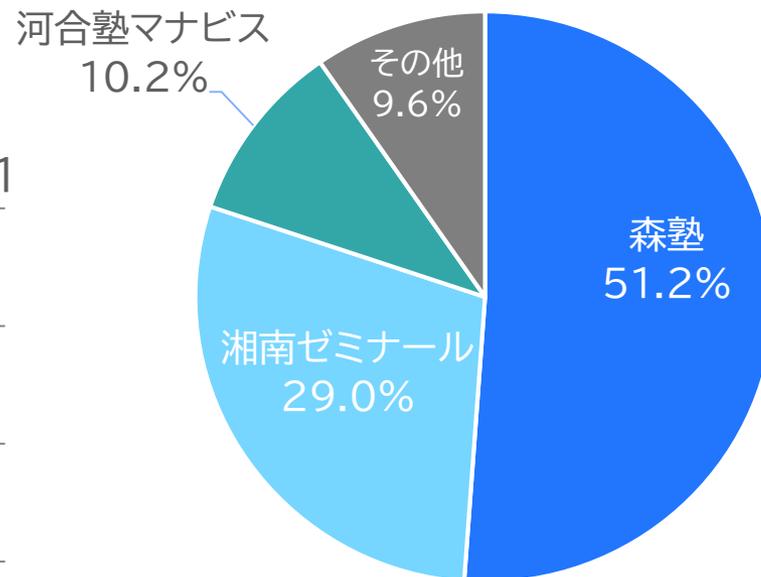
「教育」を通して、世界中の人に
「人生の新たなステージ(春)」を届ける。

VISION

「教育」でNo.1へ。

会社名	株式会社スプリックス
設立	1997年1月
代表者	代表取締役社長 常石 博之
所在地	東京本部 東京都豊島区西池袋1-11-1 長岡本社 新潟県長岡市東坂之上町2-2-1
資本金	1,438百万円
事業内容	学習塾および教育関連事業
連結従業員数	1,394人(2023年9月末)
上場市場	東証スタンダード
決算月	9月

売上高構成比
(2023年9月期)



事業概要(事業セグメント)

森塾

小・中・高校生を対象とした、
先生1人に生徒2人までの個別
指導型の学習塾
中学生を対象に成績保証制度
を導入



湘南ゼミナール

小・中・高校生を対象とした集
団指導型の進学塾
発祥である神奈川県を中心に
展開



河合塾マナビス

現役高校生を対象に映像
授業と対人サポートを組み
合わせた大学進学塾
フランチャイジーとして事業
を展開



その他(教育関連サービス)

自立学習RED

小・中・高校生を
対象に教育ITを
活用し生徒の進
度にあわせた学
習プログラムを
提供



そら塾

小・中・高校生
を対象とした
先生1人に生徒
2人までのオン
ライン型個別指
導塾



テキスト 販売等

「フォレスト」
シリーズ、
「フォレスト
データベース」の販売



東京ダンス ヴィレッジ

社会人を対
象としたダン
ススクールの
運営



基礎学力事業

国際基礎学力検
定「TOFAS」の開
発・運営・販売、AI
タブレットで基礎
学力を養成する
「DOJO」

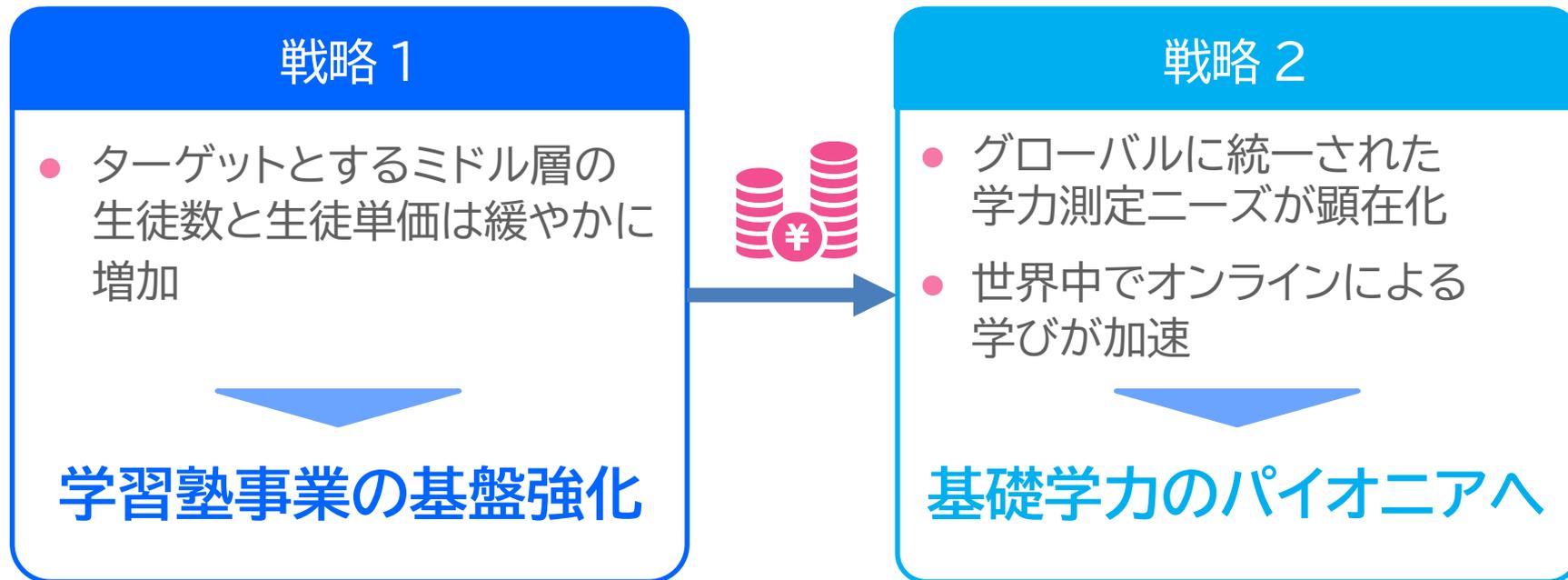


その他

プログラミング学
習サービス
「QUREO」の開
発・販売、「プログ
ラミング能力検
定」の開発・運営・
販売等



安定した伸びの学習塾事業の収益を 急速に拡大する基礎学力の投資へ



基礎学力事業へFY2023-2025に集中的に投資

2

FY2024-1Q業績

FY2024-1Q (2023年10月-2023年12月) — 決算概要

- 森塾 : 新規開校、入塾生徒数の堅調推移に加え、昨春からの授業料単価アップが寄与し、業績は安定
- 売上高 : 森塾の好調な業績が牽引、またその他事業や湘南ゼミナールも堅調に推移したことで、連結ベースでの売上高は増加
- 営業利益 : 売上の堅調な推移と森塾でテレビCMを取りやめたことによる広告宣伝費の減少により、1Qは営業利益が堅調に推移

(単位:百万円)	FY2023 1Q (実績)	FY2024 1Q (実績)	増減金額 (増減率、%)	要因
売上高	7,718	8,183	+465 (+6.0%)	<ul style="list-style-type: none"> • スプリックス単体は、森塾の新規開校、入塾生徒数の堅調が堅調に推移し売上高は増加 • 森塾でテレビCMを取りやめたことにより広告宣伝費が減少 • 売上高増加、広告宣伝費減少に伴い、スプリックス単体の営業利益も増加 • 湘南ゼミナールは、生徒数微減を単価アップがカバーし、売上は堅調に推移
営業利益 (利益率、%)	750 (9.7%)	1,061 (13.0%)	+310 (+41.4%)	
EBITDA (利益率、%)	1,043 (13.5%)	1,362 (16.6%)	+318 (+30.5%)	
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	454 (5.9%)	652 (8.0%)	+198 (+43.7%)	

FY2024-1Q — 期初予想に対する進捗状況

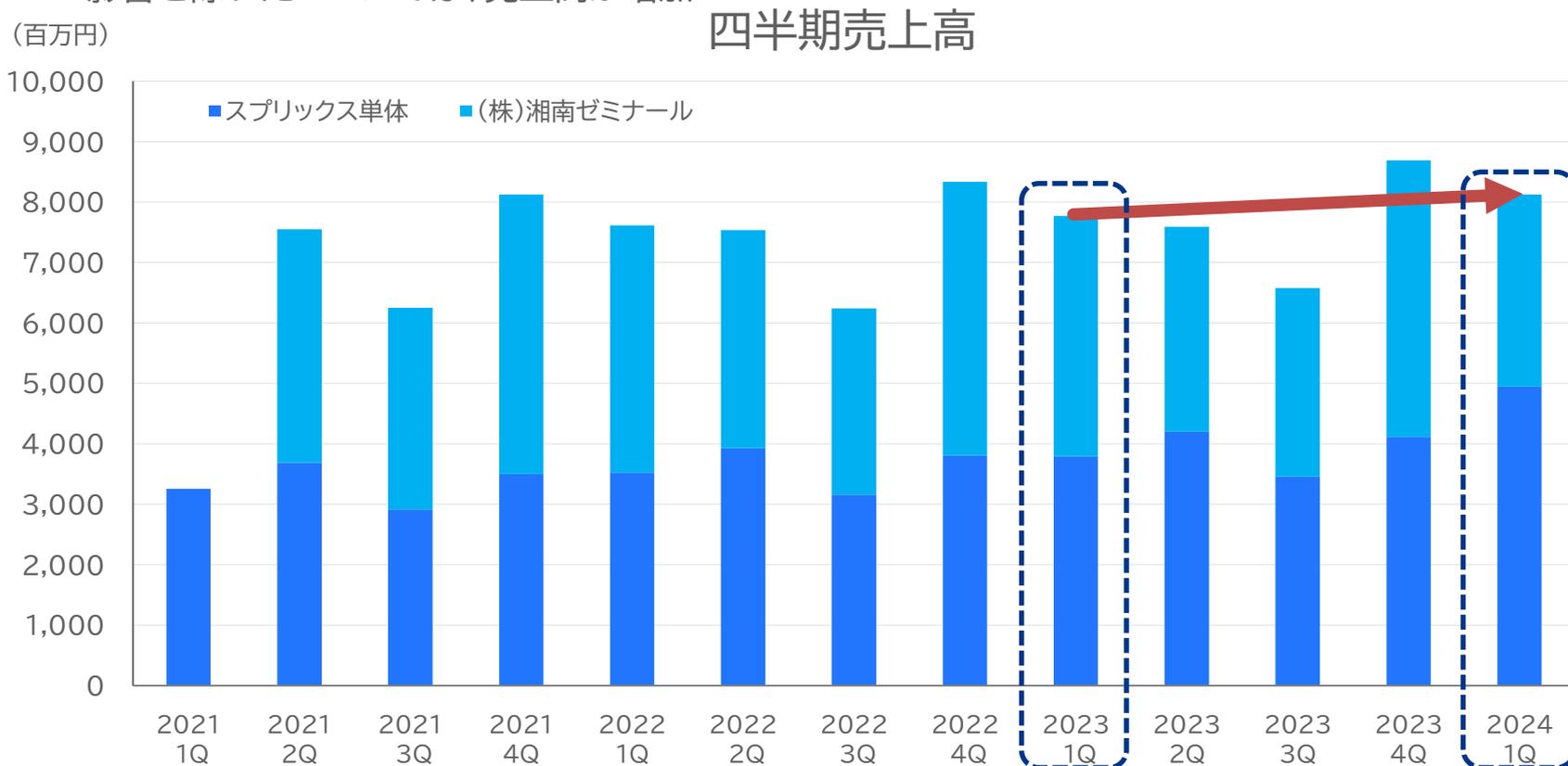
- 各進捗状況は計画通りの堅調な推移
- 前期は森塾のテレビCMを実施した1Qに広告宣伝費が偏重していたが、今期はテレビCMを実施せず、年間を通して広告支出を予定しており2-4Qは前年同期比で広告宣伝費増となる見込み
加えて、期後半に本部移転に伴う費用負担増等を見込んでいることから、1Q営業利益は通期予想を上回っているものの、通期業績予想は現時点では据え置き

(単位:百万円)	FY2024 (予想)	FY2024-1Q (実績)	進捗率 (%)
売上高	32,050	8,183	25.5%
営業利益 (利益率、%)	1,050 (3.3%)	1,061 (13.0%)	101.1%
EBITDA (利益率、%)	2,350 (7.3%)	1,362 (16.6%)	58.0%
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	450 (1.4%)	652 (8.0%)	145.0%

※連結予想は2023年11月10日に開示したのになります。

FY2024-1Q — 売上高の分析(四半期ごとの推移)

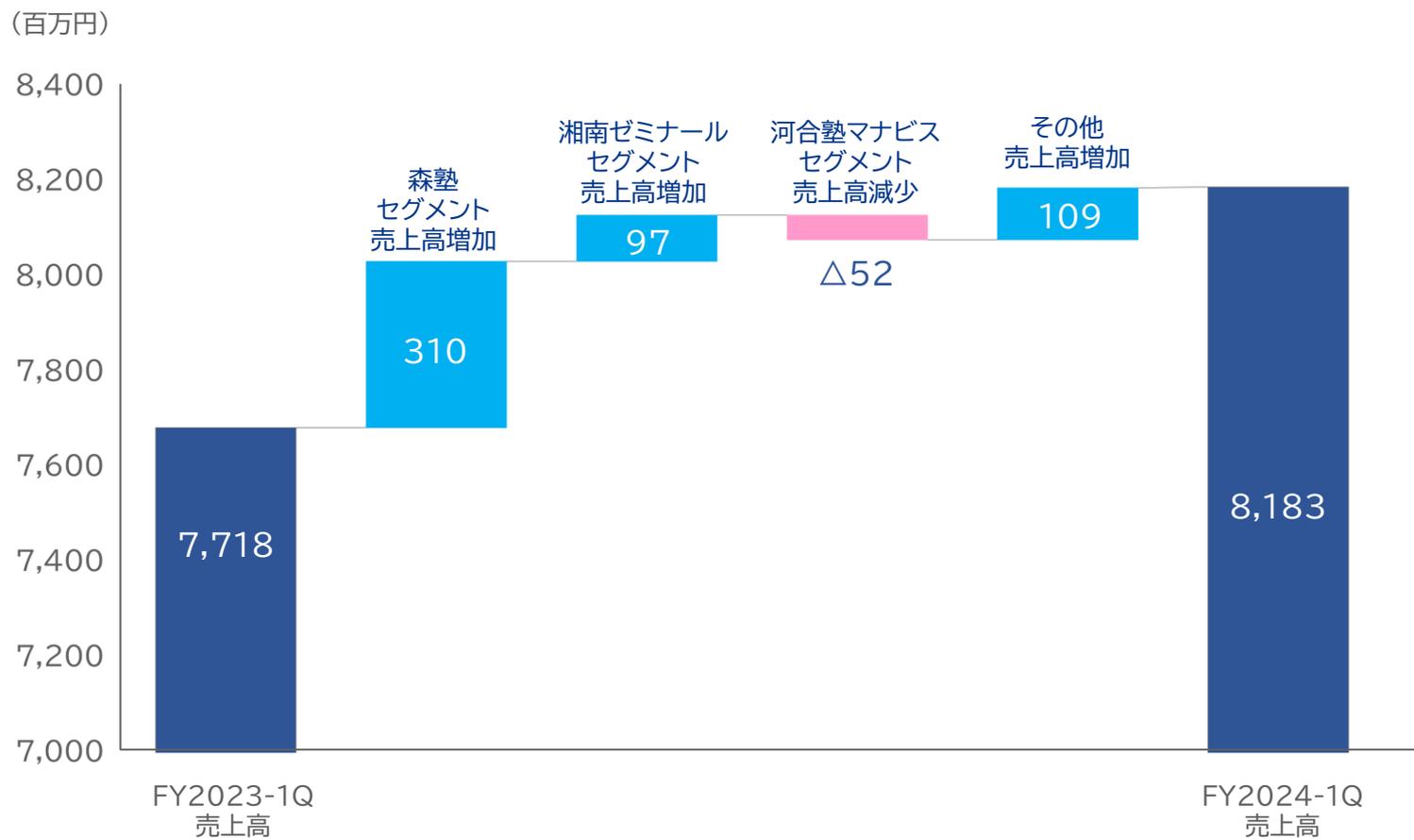
- 森塾の新規開校、入塾生徒数の堅調推移に加え、授業料の単価アップも寄与し、連結ベースでの1Q売上高は増加
- (株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナール、河合塾マナビス共に生徒数が減少したが、湘南ゼミナールの授業料単価アップがカバーし、(株)湘南ゼミナール運営の森塾事業のスプリックスへの継承による影響を除いたベースでは、売上高が増加



(注)・スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値であるため、合計値は連結売上高とは異なります。
 ・(株)湘南ゼミナールは2021 2Qより連結対象となりました。
 ・2024 1Qから、(株)湘南ゼミナール運営の森塾は、スプリックスが継承しております。

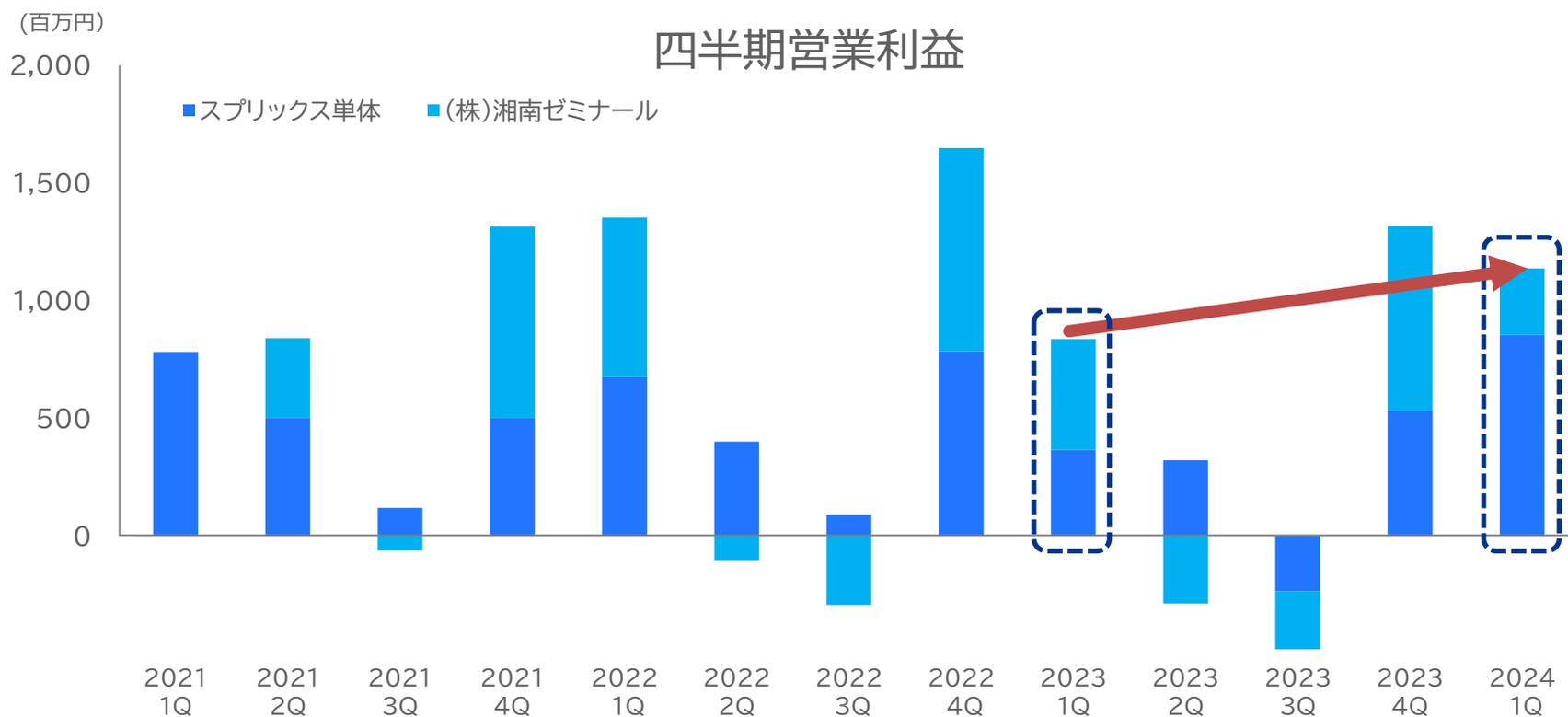
FY2024-1Q — 売上高の差異分析(前年同期比)

- 森塾セグメントは、新規開校、入塾堅調により、生徒数が安定的に推移し増収
- 河合塾マナビスセグメントは、生徒数が減少し減収



FY2024-1Q — 営業利益の分析(四半期ごとの推移)

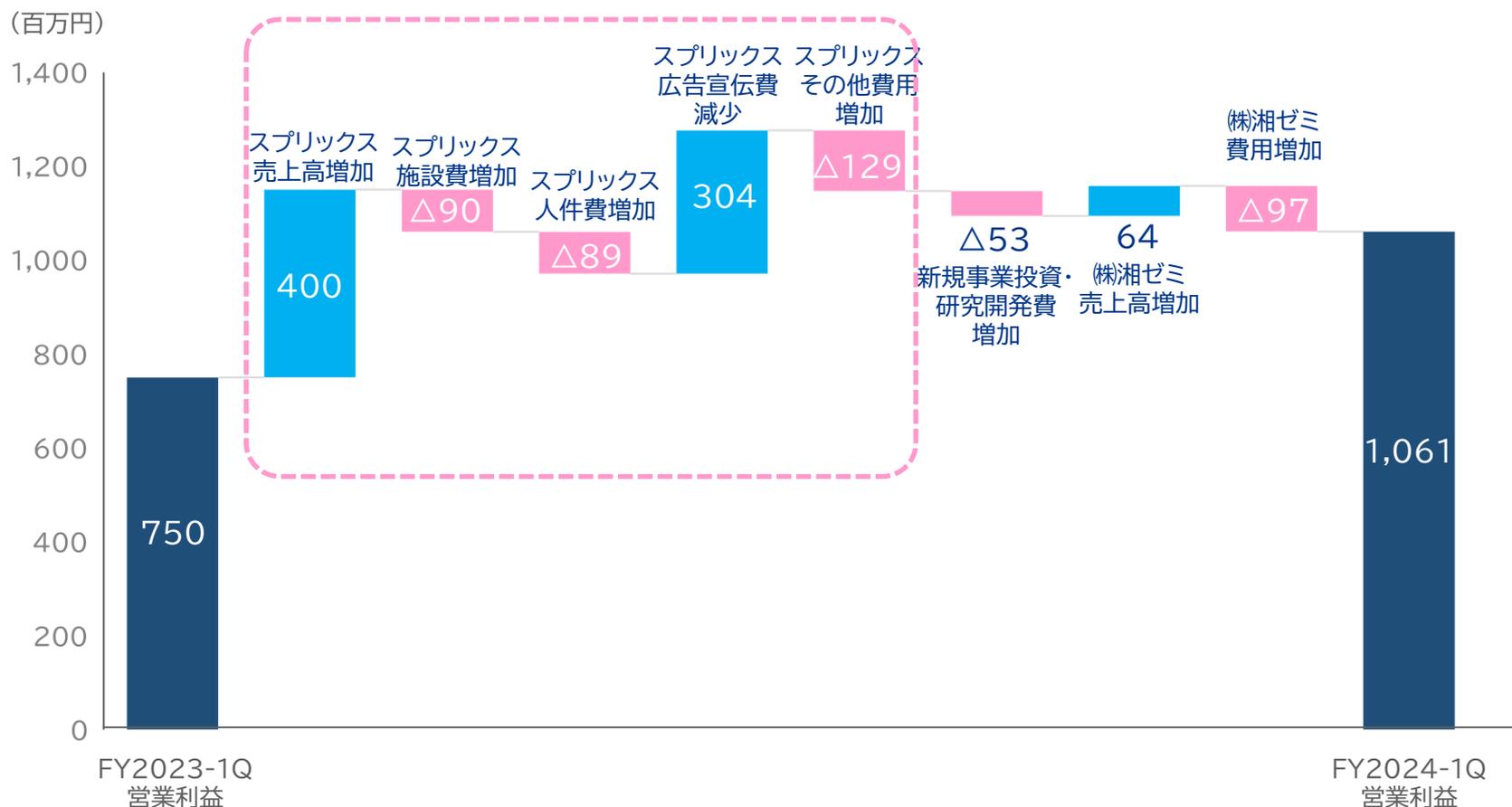
- スプリックス単体は、売上高の増加に伴い、営業利益も増加(営業利益増加には、(株)湘南ゼミナールからの森塾事業承継による影響も含む)
- (株)湘南ゼミナールは、森塾事業のスプリックスへの移管による影響を除いても、河合塾マナビスの生徒数の減少などにより減益



(注)・(株)湘南ゼミナールは2021 2Qより連結対象となりました。
・2024 1Qから、(株)湘南ゼミナール運営の森塾はスプリックスが継承

FY2024-1Q — 営業利益の差異分析(前年同期比)

- スプリックス単体では、森塾の順調な新規開校をベースに、業績は好調に推移
- 前期実施したTVCM(森塾広告)を今期は未実施のため、1Qは広告宣伝費が減少
- 新規事業投資・研究開発(TOFAS等)は、前年に引き続き積極的に投資

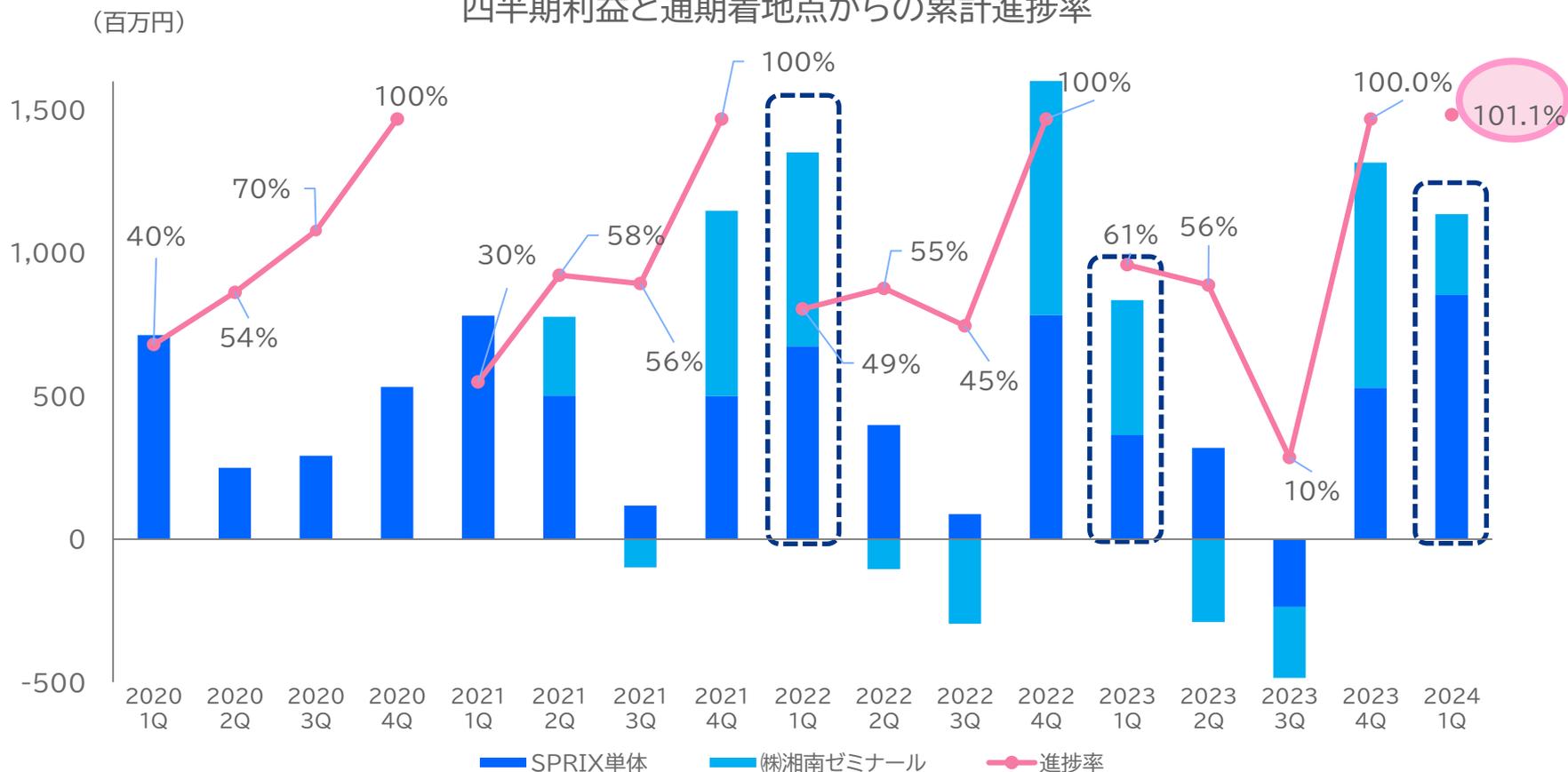


(注)FY2023-1Qの(株)湘南ゼミナール運営の森塾売上・費用は、スプリックスに合算

FY2024-1Q — 営業利益(進捗率の季節性)

- 学習塾事業の特性により、当社は1Q、4Qに利益偏重

四半期利益と通期着地点からの累計進捗率



(注)・SPRIX単体、湘南ゼミナール単体営業利益は、連結相殺前の数値を表示しております。累計進捗率は、連結営業利益の数値にて表示しております。

・(株)湘南ゼミナールは2021 2Qより連結対象となりました。

・2024 1Qから、(株)湘南ゼミナール運営の森塾はスプリックスが継承しております。

FY2024-1Q – セグメント別業績

(単位:百万円)

セグメント	売上高	前同比	営業利益	前同比	要因・トピックス
森塾	4,335	+310 (+7.7%)	1,496	+470 (+45.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 新規開校、入塾堅調、昨春からの授業料単価アップにより、業績は好調 グループ全体の資産効率の向上を図るため、2023年10月1日付で会社分割により(株)湘南ゼミナール運営の森塾を(株)スプリックスに統合 前期実施したTVCM(森塾広告)を今期は未実施のため、1Qは広告宣伝費が減少
湘南ゼミナール	2,460	+97 (+4.1%)	458	△10 (△2.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 昨春からの授業料単価アップも寄与し、売上増加 生徒数微減となっているが、昨春の合格実績向上を生かし、マーケティング活動による中期的な回復を目指す
河合塾マナビス	721	△52 (△6.8)	26	△51 (△65.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 成長のための土台固め期間であり、新規出店は抑制 大学入試における推薦入試の伸長により高校3年生の生徒数が課題
その他	665	+109 (+19.8%)	△248	+26 (-%)	<ul style="list-style-type: none"> TOFASは世界40か国以上、受験者数は累計350万人を突破。積極的な研究開発、投資を実施 プログラミング能力検定(プロ検)は全国3,194会場で実施、受験者数は国内No.1※

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年11月)

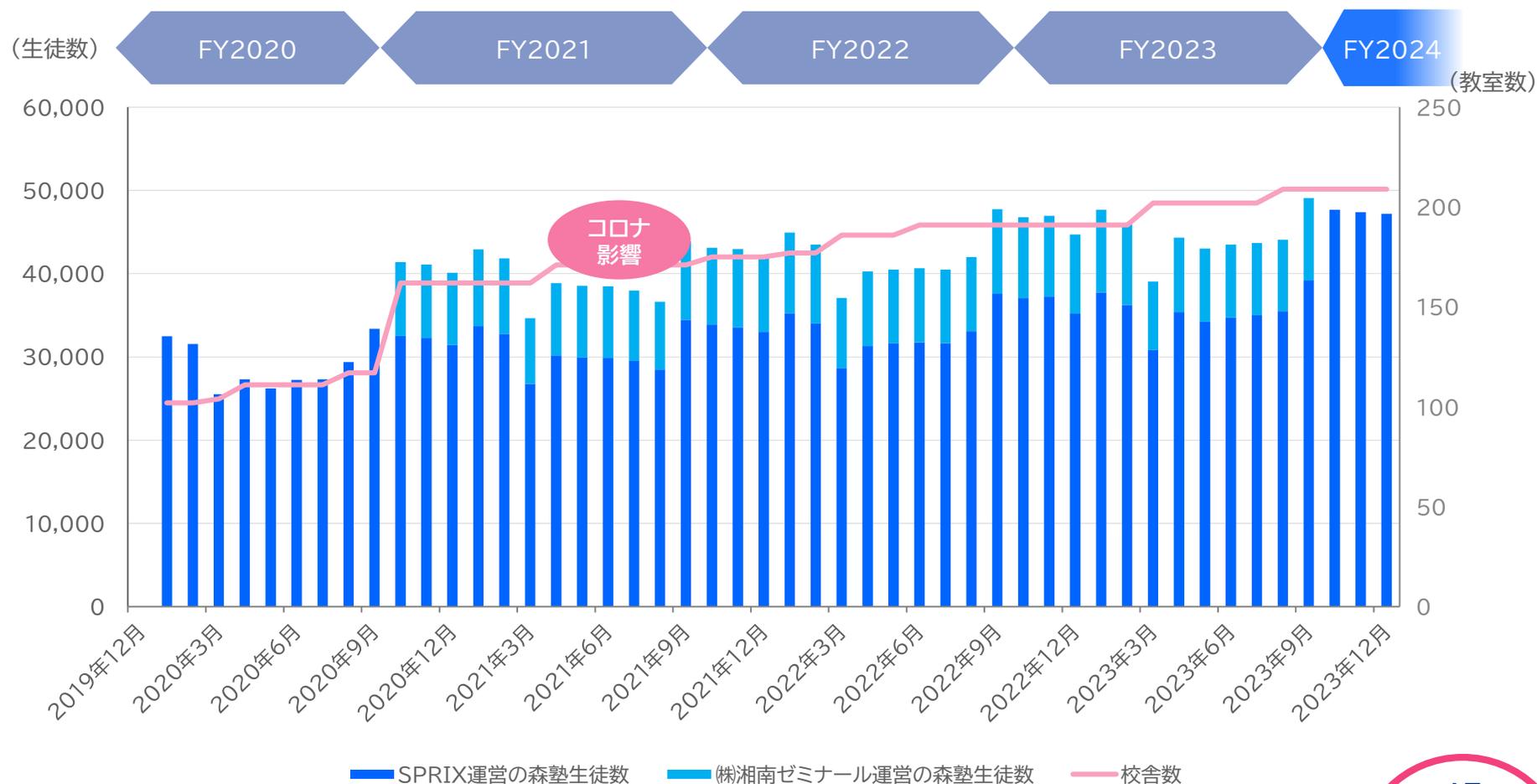
セグメント別 生徒数・教室数の推移(対前年比)

セグメント		FY2023 1Q	FY2024 1Q	増減数	増減率
森塾	生徒数	44,721	47,193	+2,472	+5.5%
	教室数	191	209	+18	+9.4%
湘南ゼミナール	生徒数	20,595	19,884	△711	△3.4%
	教室数	182	196	+14	+7.7%
河合塾マナビス	生徒数	5,200	4,959	△241	△4.6%
	教室数	49	50	+1	+2.0%

(参考)森塾の合計生徒数と教室数

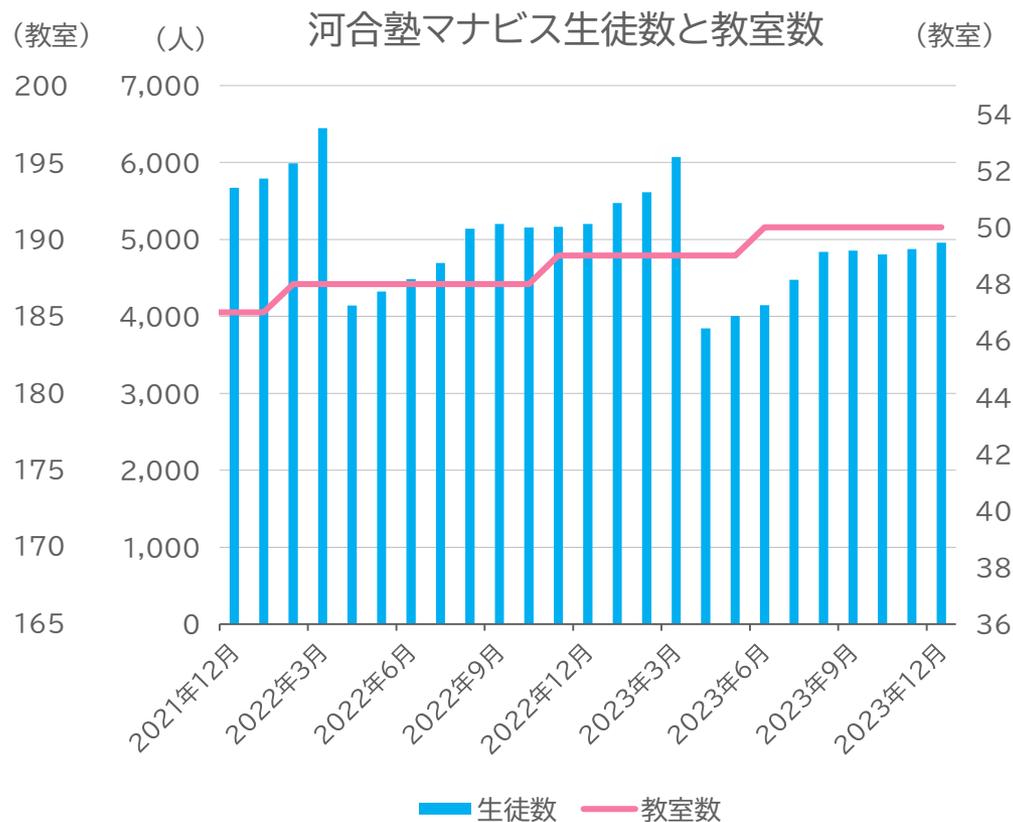
- FY2024 1Q末の教室数は209教室、生徒数は47,193人
- 2023年10月から、(株)湘南ゼミナール運営の森塾はスプリックスが継承

森塾生徒数と教室数



(参考)湘南ゼミナールと河合塾マナビスの生徒数と教室数

- 湘南ゼミナールにおいては、2023年は、従来の夏入塾主眼から、秋入塾を主眼にしたマーケティングに変更



今期FY2024の計画、現在までの進捗

森塾

2024年3月に12教室
(東京4、神奈川1、大阪7)を
新規開校

関西エリアに本格進出

New!

FY2024は20教室
開校予定



湘南ゼミナール

2024年1月、
横浜翠嵐Vコース1教室、
御三家Vコース1教室
を新規開校

New!



河合塾マナビス

FY2024は1教室を
開校予定

河合塾マナビス

その他(教育関連サービス)

自立学習 RED

2023年冬に
5教室を新規
開校し、204
教室に

New!



そら塾

オンライン専門
個別指導塾生
徒数No.1※1の
知名度を活か
し、更なる生徒
数増の見込み



テキスト 販売等

河合塾との
協業による
高校生向け
教材の開発
を推進



東京ダンス ヴィレッジ

2023年9月
に渋谷校を
開校



基礎学力事業

2023年9月末にTOFAS
累計受験者数が350万人
を突破

2024年2月にTOFAS第
12回検定を実施
インドネシア共和国 ラモン
ガン県及びラモンガン教育
局と覚書を締結

New!

New!



その他

プログラミング
能力検定(プロ
検)が受験者数
でNo.1を獲得※2



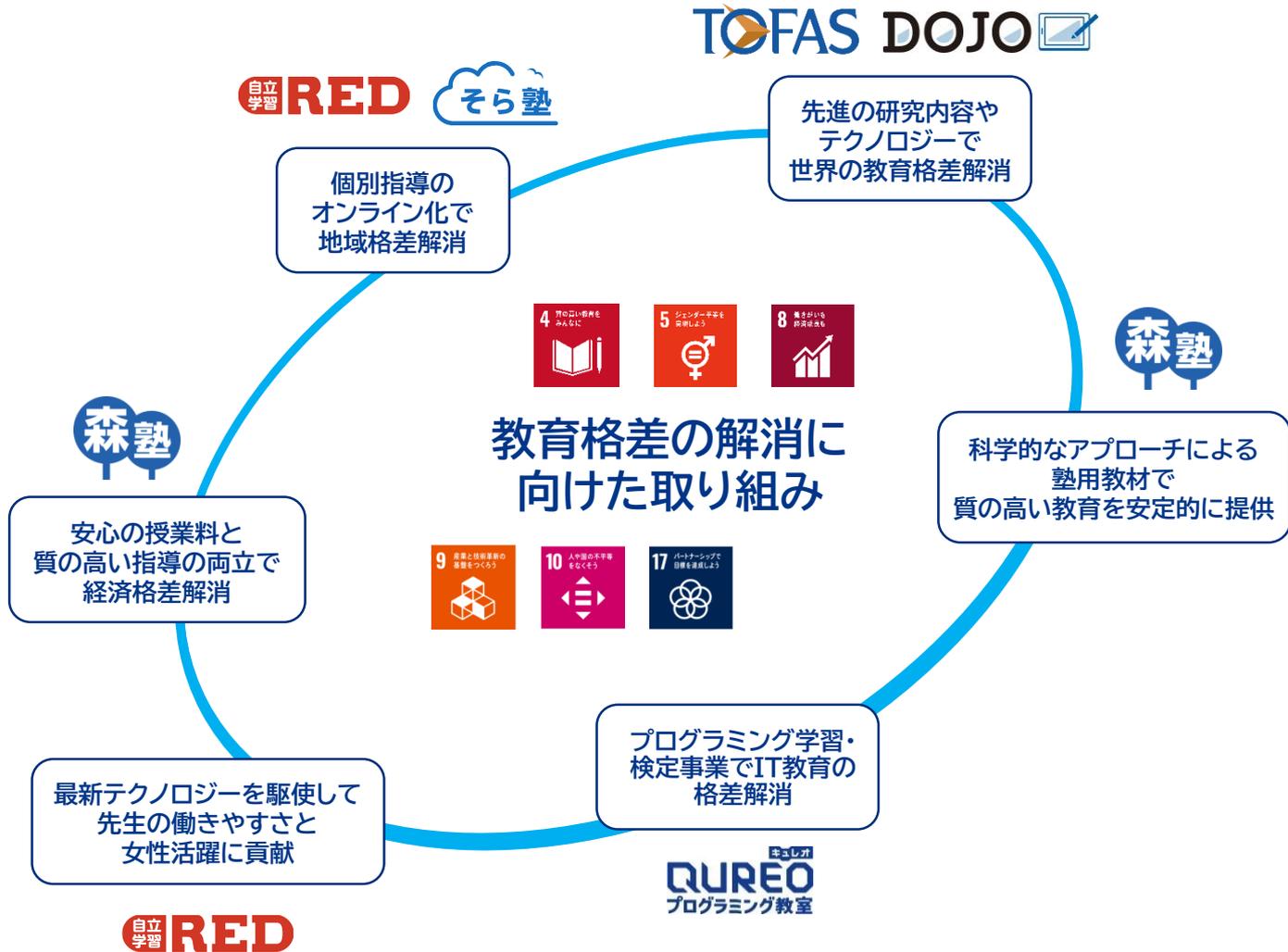
※1 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年1月)

※2 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年11月)

3

參考資料

ESGのS(社会)の分野に重点的に取り組む



人的資本投資はビジネスモデルの要

- 「教務の仕組み化」で、講師の採用・育成・定着の負担を軽減
- 「やりがい」「コミュニケーション力」を重視することで講師の採用枠を広げる
- 「個別指導で業界シェアNo.1になる」「塾業界をあこがれの職業にする」ことでさらなる人材獲得を見込む



(参考資料) データで見るSPRIX (ファクトシート)

(単位:百万円)	FY2019 (単体)	FY2020 (連結)	FY2021 (連結)	FY2022 (連結)	FY2023 (連結)	FY2024-1Q (連結)
売上高	11,410	11,843	25,901	29,352	30,363	8,183
営業利益	2,741	1,787	2,437	2,778	1,318	1,061
EBITDA	2,851	1,937	3,385	3,938	2,521	1,362
総資産	10,861	11,485	19,277	19,574	20,143	20,609
純資産	7,642	8,091	8,864	9,774	9,706	10,045
現金及び現金同等物の期末残高	6,819	7,308	6,163	5,935	6,007	6,313
自己資本比率(%)	70.4	70.2	45.9	49.8	48.0	48.5
売上高営業利益率(%)	24.0	15.0	9.4	9.5	4.3	13.0
EBITDAマージン比率(%)	24.9	16.3	13.0	13.4	8.3	16.6

教育でNo.1へ

SPRIX

株式会社スプリックス

個別指導型学習塾、テキスト販売、
基礎学力検定TOFAS運営など

- 小・中・高校生が対象の個別指導塾
- 全国に200教室以上を展開
- 基礎学力検定TOFASを世界中で展開

湘南
ゼミナール

株式会社湘南ゼミナール

一斉指導を中心とする進学塾
湘南ゼミナール、河合塾マナビスの運営

- 小・中・高校生が対象の進学塾
- 公立中高一貫校の中学・大学受検指導
- 神奈川県を中心に首都圏に教室を展開

プログラミング
総合研究所

株式会社プログラミング総合研究所

株式会社サイバーエージェントとの
合併会社

- 日本最大級のプログラミング検定
- 「プログラミング能力検定」の開発と運営
- プログラミング教育の為の評価指標提供

キュレオ

株式会社キュレオ

株式会社CA Tech Kidsとの
合併会社

- 全国の学習塾や習いごとの事業者向け
- プログラミング教材の提供と授業支援
- 「QUREOプログラミング教室」を展開

和陽
WAYO JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

株式会社和陽日本語学院

株式会社スプリックスの
100%子会社

- (株)ひのき会から日本語学校事業を譲受け
- 中国人留学生を中心に海外からの留学生向け
- 日本語教育と進学指導を実施